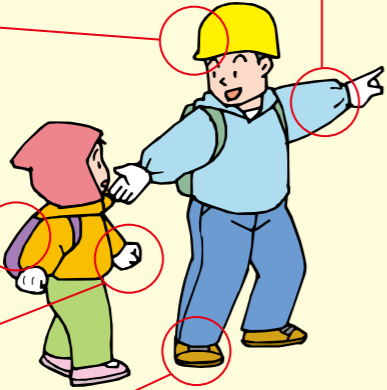


避難するときは

避難するときはこんな服装で

- 防災ずきんやヘルメットなどをかぶります
 - 非常持出品はリュックサックに入れて背負います
 - 軍手や手袋をはめます
 - 靴は底の厚い、はき慣れたものをはきましょう
- 長そで・長ズボン着用。燃えにくい木綿製品がよいでしょう



●避難は必ず徒歩で

山間部など一部地域を除いて、車やオートバイは使わないで徒歩で避難しましょう。

●隣近所の安全を確認

ひとり暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯、障害のある人には積極的に声をかけ、必要があれば避難の手助けをしましょう。

●エレベーターは使わない

エレベーターは絶対に使わないで、階段を使って避難しましょう。

●家をでる前に出火防止策を

ガスの元栓を閉め、電気ブレーカーを切りましょう。窓やドアの戸締まりも忘れずに。

●危険な道は避ける

ブロック塀や石壁は倒壊するおそれがあり、がけや川べりは崩れやすくなっている場合がありますので、近寄らないようにしましょう。また、切れてたれ下がっている電線には触れないようにしましょう。

地震の備え(1)

地震が起きたら...

地震が発生して最初の1分間は、身の安全をしっかりと確保してください。揺れがおさまったら、2次災害の防止や避難の準備を落ち着いて行いましょう。

地震がおさまったら

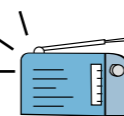
●火を始末する

台所などの火元を確認しましょう。出火した場合は初期消火を行いましょう。



●正確な情報入手する

間違った情報やうわさなどに惑わされないように注意しましょう。



地震発生

●自分の身を守る

テーブルなどの下に隠れて自分の身を守りましょう。余裕があれば手近の座ぶとんや枕などで頭を保護しましょう。



●出口を確保する

建物がゆがんでドアや窓が開かなくなることがあるので、逃げ道を確保しましょう。



街中や外出先で地震が発生したら

●地下街

地下街には約60mおきに出口があるので、柱や壁に身を寄せて、あわてずに揺れがおさまるのを待ちましょう。万一火災が発生した場合は、ハンカチなどで鼻と口をおおって、壁づたいに姿勢を低くして地上に避難しましょう。



●電車やバスの中

将棋倒しや網棚からの落下物に注意して、つり革や手すりにしっかりとつかまってください。勝手に電車やバスの外に出るのは危険なので、係員の指示に従って行動しましょう。



●繁華街

ガラスや看板、ネオンサインなどの落下物に注意して、手荷物で頭を守りながら近くのビルなどに逃げ込みましょう。



●車の運転中

ハンドルをしっかりと握って徐々にスピードを落とし、道路の左側に停止してエンジンを切り、揺れがおさまるまで車外に出ないようにしてください。車を離れる場合は、キーをつけたままにしておきましょう。



●エレベーターの中

すべての階のボタンを押して、最初に停止した階で降りましょう。万一閉じ込められた場合は非常ボタンを押し続け、非常電話で救助を求めましょう。最近では揺れを感知してもよりの階に停止するエレベーターもあります。



万全ですか？

地震への備えは

平成7年1月の阪神・淡路大震災や平成16年10月の新潟県中越地震、また最近では平成20年6月の岩手・宮城内陸地震が発生しています。地震による被害を最小限に食い止めるためには、市民の皆さん一人ひとりが危機意識を持ち、日頃から災害に備えておくことが何より大切です。今回は、「地震への備えと対応」について紹介します。「万が一の備え」としてお役立てください。

【問い合わせ】市自治防災課 ☎0994-31-1124